

令和2年度「職員による学校評価」(最終)

回答率

※評価の目安 4:十分達成している 3:おおむね達成している 2:どちらかという達成されていない 1:ほとんど達成されていない

通し番号	評価項目	具体項目	具体的方策	4	3	2	1	平均評価	3と4の割合
1	(1) 教務関係	生徒募集に係る広報活動の充実	学校紹介の資料及び情報の提供を積極的に行う。	37%	54%	9%	0%	3.3	91%
2		計画的な学校運営	関係分掌や学年との連絡・調整を密に行い、行事計画などを早めに提示し、スムーズな行事運営に努める。	40%	54%	6%	0%	3.3	94%
3			県庁サーバー・清峰サーバーを使い、情報の共有化を図る。	57%	43%	0%	0%	3.6	100%
4	(2) 生徒指導関係	品性ある清峰生の育成	学年団、部活動、関係分掌との連携を図る。学年集会や全校集会での注意喚起を行う。毎朝の登校指導において積極的な声かけを行う。	26%	57%	17%	0%	3.1	83%
5			あいさつの励行、ロッカーや教室の残置物指導、定期的なMR乗車指導を行う。	29%	60%	11%	0%	3.2	89%
6			リサイクル及びごみ分別に対する意識の向上を図る。ごみゼロ運動を実施する。	37%	46%	17%	0%	3.2	83%
7	(3) 進路指導関係	進路目標設定の支援	進路講演会や進路ガイダンスを実施して進路意識を高めるとともに、個々の進路に有用な情報をタイムリーに提供する。						
8		進路目標達成率の向上	進路に関する検討会を実施し、各学年と連携して生徒の希望や学力を把握し、指導に役立てる。	49%	51%	0%	0%	3.5	100%
9			補習や模擬試験、面接指導などを計画的に行う。	69%	29%	3%	0%	3.7	97%
10	(4) 生徒会関係	学校行事の円滑な運営	各学年・分掌と連携して企画立案し、全職員への共通理解を図るとともに、生徒会役員・各種専門委員・部活動部長が中心となり、生徒主体の学校行事の運営を推進する。	43%	54%	3%	0%	3.4	97%
11		学校行事の活性化	生徒会で企画する学校行事において、生徒の活躍の場を増やす。また、生徒会役員や各種専門委員の意見やアイデアを積極的に取り入れ、生徒に充実感や達成感を味わわせる。	46%	51%	3%	0%	3.4	97%
12	(5) ことごとからだの支援関係	健康の保持増進	各種検診や日々の生徒対応により、個々の健康課題を早期発見し、適切な対応に努める。	57%	40%	3%	0%	3.5	97%
13			各種広報活動や保健指導を通じて、健康や安全に関する意識の向上を図る。	49%	51%	0%	0%	3.5	100%
14		相談活動の充実	年に3回の「悩みやいじめの調査」や各種検査・面談を通して生徒理解に努める。	69%	31%	0%	0%	3.7	100%
15			特別支援委員会や教育相談委員会の円滑な運営と、学年・他分掌、専門機関等との連携に努め、個々の支援に繋げる。	43%	54%	3%	0%	3.4	97%
16	(6) 図書研修関係	読書教育の充実	朝の読書『清心の時間』の際は、開始の時間を守って「3つの約束」を徹底させる。	29%	63%	6%	3%	3.2	91%
17			「清華伝承」「図書館だより」の発行や、図書委員会の活動を活性化することで、生徒の図書館利用(年間貸出2000冊)を推進する。	40%	51%	9%	0%	3.3	91%
18		道徳教育の推進	HR委員・生徒会役員を中心に、全校生徒が関わることができる平和学習の企画・運営に努める。	54%	40%	6%	0%	3.5	94%
19		職員研修の充実	全教職員を対象に、研究授業・公開授業・他校における授業参観を実施し、教科指導力の向上のための環境づくりに努める。	29%	46%	23%	3%	3	74%
20	(7) 総合推進関係	総合学科教育の充実	学年会で企画・立案を行い、学年団と協力して生徒が主体的に学習できるように支援する。	31%	51%	17%	0%	3.1	83%
21		広報活動の充実	開かれた学校づくりを目指して、年7回「清峰だより」を発行し、保護者、地域、中学校に配布する。	46%	51%	3%	0%	3.4	97%
22	(8) その他	個別指導の充実	4月・7(9)月の年2回、面談を実施し、1回は保護者面談を行う。それ以外でも必要に応じて実施する。	54%	46%	0%	0%	3.5	100%